

平成 27 年 度 事 業 報 告 書

社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会

社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会
平成 27 年度事業報告

I 本部事業

平成 27 年度は、「公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団」が、社会福祉施設の制度を利用して、成人した障害のある人たちの「家」を作るために、1980 年に「社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会」を設立し、35 周年を迎えた年でした。これを記念して、次代の福祉を目指すロボットテクノロジーの記念講演会と展示などを開催しました。

全国的に少子高齢化による影響が大きく、福祉関係に限らず、一般企業においても人材不足が深刻な問題となりました。一億総活躍社会を掲げる政府も、人材の確保と育成のための財源の捻出を図り、従来から進められている介護職員処遇改善のための予算をさらに増額する策を講じています。当法人としても人材確保と育成が大きな問題であり、そのために人事管理システムを稼働させ、人事評価を行いました。施設運営の財政状況も厳しくなり、今後の運営のために、職員の給与表の見直しや多くの人が働きやすい状況になるようさらに研究が必要と確認しました。

4 つの拠点で活動しており、地域も対象も活動内容も異なるため、同じ法人理念のもとに結集し、情報交換を図り、人事交流と研修を活発に行いました。

平成 27 年 12 月 6 日に、法人設立当初から活動していただいた小西孝彦理事・評議員が心不全のために亡くなりました。小西孝彦さんの理事・評議員退任により、新たに評議員の安行英文さんが理事を兼務することになりました。新任評議員として森井章二さんが就任しました。

1 施設運営

「はりま自立の家」「はんしん自立の家」「しそう自立の家」は、入居者の加齢にともなう障害の重度化が進み、怪我や病気、事故による病院入退院や通院が増えました。「かるがも園」は、27 年度で 5 年間の指定管理期間が終了するため、次期の指定管理を受けられるよう、中堅職員 2 名を採用し、活動の充実に努めました。各施設とも人材が不足し、常勤職員だけでなく、非常勤職員やアルバイトなども確保して、入居者、利用者のサービスの向上に努めました。4 つの施設のうち、3 つの施設の管理者が定年を超え、早急に後継者の育成が必要になりました。

2 財務全般

平成 27 年度は、財政的には非常に厳しい年でした。「しそう自立の家」では赤字決算になり、施設運営についての研究が必要となりました。指定管理による「かるがも園」以外は、財政的には厳しい状況でした。

3 施設・設備整備

各施設とも大規模な修理・修繕を必要とする箇所が増えてきました。当初、設計や工事に当たった設計士や工事責任者が交代しているため、専門的な観点から判断してもらえるよう、以前より相談してきた設計事務所に、専門的な相談業務を委託しました。

4 理事会運営

第1回 平成27年5月18日（月） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事5名、監事2名

議案 1. 平成26年度事業報告の認定 2. 平成26年度財産目録 貸借対照表 収支計算書の認定 3. その他

第2回 平成27年9月18日（金） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事5名、監事2名

議案 1. 平成27年度第1次収入支出補正予算の認定 2. 各種補助事業について
3. その他

第3回 平成28年1月25日（月） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事4名、監事2名

議案 1. 理事の退任と選任について 2. 平成27年度第2次収入支出補正予算の認定 3. 諸規則の変更について 4. 各種補助事業について 5. その他

第4回 平成28年3月15日（火） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事6名、監事1名

議案 1. 平成27年度第3次収入支出補正予算の認定 2. 平成28年度事業計画の認定 3. 平成28年度収入支出予算の認定 4. 役員を選任について 5. その他

5 評議員会運営

第1回 平成27年5月18日（月） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員12名

議案 1. 平成26年度事業報告の審議 2. 平成26年度財産目録 貸借対照表 収支計算書の審議 3. その他

第2回 平成27年9月18日（金） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員10名

議案 1. 平成27年度第1次収入支出補正予算の審議 2. 各種補助事業について

3. その他

第3回 平成28年1月25日(月) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員12名

議案 1. 理事の退任と選任について 2. 平成27年度第2次収入支出補正予算の
審議 4. 諸規則の変更について 4. 各種補助事業について 5. その他

第4回 平成28年3月15日(火) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員9名

議案 1. 平成27年度第3次収入支出補正予算の審議 2. 平成28年度事業計画の
審議 3. 平成28年度収入支出予算の審議 4. 理事の退任と選任について
5. その他

6 監事活動

監事監査 平成27年5月12日(火) 於 「はんしん自立の家」

7 海外チェンジャーホームとの交流及び国際交流

ラティテュード・ボランティアの受け入れ

平成27年4月～8月

「はりま自立の家」にカナダより1名

「はんしん自立の家」にオーストラリアより1名・イギリスより1名

平成27年9月～平成28年2月

「はりま自立の家」にイギリスより1名・カナダより1名

「しろう自立の家」にオーストラリアより1名・イギリスより1名

「はんしん自立の家」にオーストラリアより1名・カナダより1名

平成28年3月～現在

「はりま自立の家」にイギリスより1名

「はんしん自立の家」にカナダより1名・ドイツより1名

8 研修及び施設連絡会議、その他活動

新入職員辞令交付式ならびに合同宿泊研修

平成28年3月26日～27日

内 容 辞令交付式と研修 各施設等を見学

参加者 13名

ケアマネジメント勉強会

内容 計画相談の活用、ケアプランのあり方、地域包括ケアをめざして

講師 柿木 達也 先生
場所 「はんしん自立の家」
27年7月19日、9月20日、11月8日

法人合同中堅リーダー研修

内容 各施設の中堅職員を育てるためにリーダー研修を行いました。
講師 LLC（合同会社）チーム経営 長尾文雄先生 博野英二先生
場所 「はんしん自立の家」
27年7月30日、8月30日、9月3日、12月10日、

法人管理職研修

内容 社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会の理念の伝え方他運営について。
講師 LLC（合同会社）チーム経営 長尾文雄先生 博野英二先生
場所 「はんしん自立の家」
27年5月21日、6月30日、7月16日、9月22日、11月18日、12月24日、
28年2月4日、3月1日、3月29日、

施設連絡会議 法人理事長、理事、全施設長と幹部職員が各施設で当面する問題を協議し、その後、施設を見学し自主点検を行ないました。

平成 27 年 5 月 21 日	「はんしん自立の家」
平成 27 年 6 月 30 日	「はんしん自立の家」
平成 27 年 7 月 16 日	「はんしん自立の家」
平成 27 年 9 月 1 日	「かるがも園」
平成 27 年 11 月 18 日	「はんしん自立の家」
平成 27 年 12 月 24 日	「はんしん自立の家」
平成 28 年 2 月 4 日	「はんしん自立の家」
平成 28 年 3 月 1 日	「はんしん自立の家」
平成 28 年 3 月 29 日	「はんしん自立の家」

兵庫県による社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会の監査指導

平成 27 年 12 月 17 日 於 「はんしん自立の家」

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団と共催で、「子ども発達支援センター・さんだ」の活動のために、日本音楽財団の協力を得て、パブロ・フェランデス・チェロ リサイタルを実施しました。

日時 平成 27 年 11 月 27 日

場所 郷の音ホール(三田市) 入場者 895人

9 平成27年度重点事業

法人設立35周年・「はりま自立の家」35年・「はんしん自立の家」30周年・「しろう自立の家」20周年記念講演会「医療福祉介護分野の未来を切り拓くロボットテクノロジー」と記念パーティーを開きました。

日時 平成27年10月17日(土)13時30分～17時

場所 「はんしん自立の家」ピロティ

講演 「わが国における義肢装具発展の歴史とこれからのあり方」

兵庫県立リハビリテーション中央病院 澤村誠志 先生

「ロボットが人のよきパートナーとなるために必要なこと」

兵庫県立リハビリテーション中央病院 陳 隆明 先生

参加者 入居者・家族・スタッフ・ボランティア・一般市民 他 273名

新会計移行

平成27年4月1日より新会計基準に移行しました。

求人・人材育成・外国人研修生の招聘と育成

少子高齢化現象がますます顕著になり、新卒者の採用がたいへん困難になりました。外国人労働者の活用を検討し、EPAによる外国人研修生の招聘を検討しましたが、外国人留学生の受入が可能と知り、5月より4種職員として採用を開始しました。3月末現在でベトナム・インドネシア・韓国留学生を13名雇用しました。また兵庫県シルバー人材センターによる高齢派遣労働者の受入を始めました。

人事管理システムの稼働

平成24年度に実施した人事評価制度について、本年度より本格的に稼働しました。しかし、社会の変化も大きく、さらに新しい人事管理システムへの改変も必要となってきたことも確認できました。

三田土地利用計画

車いすで散策可能な遊歩道の活用と、維持のために、シルバー人材センターによる定期的清掃整備を実施しました。

複製画展・ミニコンサートの開催・筍堀等も実施しました。

ホームページ作成

ホームページ作成業者へ提案を依頼したが、詳細検討は次年度に持ちこしました。

II 「はりま自立の家」

事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援・生活介護
- (B) 短期入所事業
- (C) 居宅介護・重度訪問介護事業
- (D) 障害児通所支援事業
- (E) 福祉ホーム

A) 障害者支援施設「はりま自立の家」

施設の概要 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

所在地	兵庫県宍粟市一宮町伊和 8 7 2 番地 4 8		
敷地面積	9,334.54 m ²	施設面積	3,417.36 m ² (含職員宿舍)
施設認可・事業開始年月日	昭和 56 年 11 月 1 日		
定員(現員)	施設入所支援	50 名(現員 47 名)	
	生活介護	60 名(登録 72 名)	
管理者	鷺尾京子		

入居者、通所者の状況

施設入所支援	入所	1 名			
	退所	3 名(死亡 2 名、福祉ホーム「ローズハウスはりま」へ移行 1 名)			
生活介護	通所	25 名			
施設入所支援	障害支援区分	平均 5.7	平均利用者数	45.9 人	年間延べ 16,813 人
	平均年齢	50.7 歳	平均在所年数	22.6 年	
生活介護	障害支援区分	平均 5.6	平均利用者数	41.6 人	年間延べ 15,230 人
	平均年齢	44.4 歳			

退所者が 3 名あったため、施設入所、生活介護共に利用日数は昨年より少なくなりました。平均障害支援区分は上がっており、重度化してきています。

職員の状況平成(28 年 3 月 31 日現在)

管理者 1 名、サービス管理責任者 2 名、生活支援員 45(23)名
看護師 6(3)名、栄養士 3(1)名、調理員 5(3)名、事務員 3(2)名、
医師 4(4)名、PT 等 3(3)名、宿直員 1(1)名 () 内非常勤職員
正職員 33 名 非常勤 1 種職員 6 名 2 種職員 30 名 3 種職員 4 名 計 73(40)名

正職員で生活支援員を 1 名採用しましたが、12 月末で退職。看護師 1 名が 6 月末で退職したため、2 月に 1 名採用しました。

生活支援員 3 名が育児休業に入り、夜勤専門の 1 種職員 1 名採用。

「しろう自立の家」の調理員が不足したため1名転勤させ、2種職員1名採用。

施設財務の状況

27年中は長期入院と死亡退所者2名、福祉ホームへの移行が1名に対し、新しい入居者は1名で、減収となりました。新たな備品の購入は少なかったですが、設備備品の修繕、買い替えの支出が多くなりました。繰越金はほぼ昨年度と同額です。駐車場の整備が出来、外来者の駐車がしやすくなりました。

①各所修繕 駐車場の整地・アスファルト整備、集会室放送設備取り換え、新館エアコン取り換え、介護用リフト修理、機械浴槽修理、厨房機器修理、エアコン修理、洗濯機・乾燥機修理

②器具什器の購入 栄養ソフトの買い替え、冷蔵庫・冷凍庫、エアポリン

地域交流・ボランティア

個人ボランティア 3名 年間延べ 8日

グループ 8グループ 年間延べ 206名

ラティテュード・ボランティア 3名 年間延べ 469日

その他 重点事項等

日中活動プログラム 29種(月間) 外出 年間71回 のべ153名参加

旅行 年間16回 68名参加(長崎、東京、広島、大阪、淡路)

通所で生活介護を利用されている方の外出機会を増やしました。

年間36回 のべ87名参加

職員の資質向上に向けて、法人研修、外部研修に参加させました。

外部研修 37回 のべ 51名

法人研修 新入職員研修・考課者研修・運営会議

介護職員によるたん吸引等の実施のための研修 1名

介護職員によるたん吸引等の実施のための指導者フォローアップ研修 1名

資格取得奨励 介護福祉士1名合格。

(B)短期入所事業

短期入所 利用実人員 障害者 26名、障害児 9名 利用延べ日数 1,290日

一日平均 3.5名

日中一時支援事業(宍粟市) 利用実人員 障害者 0名、障害児 19名

利用延べ日数 431日

短期入所の利用者は固定して、定期的に利用されています。入院、他施設への入所で利用の減った方もありますが、昨年度の利用とほぼ同数。

日中一時支援事業は放課後等デイサービスを実施していない日曜日・祝日の利用、

放課後等デイサービスで定員を超える利用希望があった日、放課後等デイサービスのサービス提供時間外の早朝、夜間の利用が主で、利用者も固定しています。

(C)居宅介護・重度訪問介護事業

居宅介護	登録	4名	年間延べ派遣日数	1,417日
			年間延べ派遣時間	4,059.5時間
重度訪問介護	登録	6名	年間延べ派遣日数	1,943日
			年間延べ派遣時間	10,705.5時間
			内 移動支援 年間延べ派遣回数	136回
			年間延べ派遣時間	344時間
移動支援	登録	4名	年間延べ派遣回数	51回
			年間延べ派遣時間	163.5時間

職員の状況(平成28年3月31日現在)

管理者1名、サービス提供責任者1名、介護職員8(4)名 ()内非常勤職員
正職員6名 非常勤1種職員2名 2種職員2名 計10(4)名

入居者は平成27年12月より「はりま自立の家」から1名異動があり、10名となりました。12月末で1種職員1名が退職したため、派遣時間が減少しました。

(D)障害児通所支援事業「はりま自立の家児童デイサービス」

児童発達支援 登録人数 17名 年間延べ訓練回数 388回
宍粟市委託児童 10名 年間延べ訓練回数 37回

放課後等デイサービス 登録人数 31名 年間延べ利用回数 1,248回
内 療育訓練 登録人数 15人 年間延べ訓練回数 189回
内 療育訓練及びデイサービス 登録人数 4名 年間延べ利用回数 230回
放課後等デイサービス 登録人数 12人 年間延べ利用回数 829回

職員の状況(平成28年3月31日現在)

管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士1(1)名、児童指導員3(2)名、
理学療法士2(2)名、作業療法士3(3)名、聴覚言語療法士2(2)名

正職員2名 1種職員4名 委託職員7名 計13(12)名

()内非常勤及び委託職員

放課後等デイサービスを利用されていた方が2名特別支援学校を卒業され、28年度からは生活介護に移行。夏休み等長期休暇中は利用希望が定員10名を超える日があった為、

日中ショート利用と調整しました。

宍粟市の療育委託事業は療育相談だけでなく、その後の訓練を継続していくためにはPT・OT・STが必要ということを理解していただき、人件費分の上乗せがあり委託費が増額になりました。

(E)福祉ホーム「ローズハウスはりま」

施設の概要（平成28年3月31日現在）

所在地	兵庫県宍粟市一宮町伊和863番地50
敷地	1,445㎡(宍粟市より無償貸与)
建物	木造平屋建て 709.06㎡
事業開始年月日	平成18年10月1日
定員(現員)	定員 10人(現員 10人)
管理者	鷺尾京子
職員	栄養士(兼務) 1名

入居者の状況等

入居者 入所1名（「はりま自立の家」より移行）

「はりま自立の家」より入居を希望され延期になっていた方が12月に移行されました。入居者1名の精神状態が安定せず、スタッフが対応に苦慮しましたが、ようやく落ち着いて来られています。

朗読ボランティアは継続しており、茶道教室も再開しました。

施設の南側に流れる伊和川に砂防ダムを設置する工事のため、道路の通行状態が悪く「ローズカフェ&ショップ」の利用は減少しました。「はりま自立の家」の入居者、通所者がもっと活用できるように検討しています。

外部テラスの手すりが腐食してきていた為、天板を取り替え、手すり、床板の塗装をし直しました。

Ⅲ 「はんしん自立の家」

事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援 生活介護
- (B) 短期入所事業・児童短期入所事業・日中一時支援事業
- (C) ホームケアサービス(居宅介護・訪問介護サービス)
- (D) トラファルガー・スクウェア (小規模作業所)

(A)障害者支援施設「はんしん自立の家」

施設の概要(平成 28 年 3 月 31 日現在)

所在地 兵庫県宝塚市美幸町 11 番 16 号
敷地面積 3,447.88 m² 施設面積 2,702.74 m² (含職員宿舎)
施設認可・事業開始年月日 昭和 60 年 7 月 1 日
定員(現員) 定員 施設入所支援 50 名(51 名) 生活介護 60 名(52 名)
管理者 石田英子

入居者、通所者の状況

入所 1 名
生活介護 障害支援区分 平均 5.5 平均利用者数 49.9 人 年間延べ 13,477 人
施設入所支援 障害支援区分 平均 5.5 平均利用者数 49.3 人 年間延べ 18,060 人
平均年齢 55.4 歳 平均在所期間 21 年 3 月

職員の状況

管理者 1 名・サービス管理責任者 1 名・生活支援員 48 (28) 名
看護師 3(2)名・栄養士 1 名・事務員他 5 (3) 名、
医師 3 (3) 名、介助員 1 名 計 63 名 () 内非常勤職員及びアルバイト
正職員 26 名 非常勤 1 種職員 5 名 2 種職員 10 名 3 種職員 3 名
4 種職員 19 名 計 63 名 平成 28 年 3 月 31 日現在
27 年度は正職員 1 人、非常勤職員 7 人採用内 1 人正職員に登用、正職員 5 人、非常勤 3 人が退職しました。(4 種除く)
育児休業終了復帰 1 名。

施設財務の状況

入居者の長期入院はあったが長期帰省がなく、利用率が高く、収入は安定していました。介護職員処遇改善加算が増額されましたが、介護報酬としては減収となり、今後の対策は必要です。大規模な改修工事設備整備もなく、支出も安定していました。職員配置基準内であったが、正職員の確保が困難なため、ベトナム・インドネシア留学生をアルバイトとして雇用したので人件費が余り、剰余金を残すことができました。

助成事業

宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」より配分を受け、絵本の購入、新年獅子舞・サロンコンサートを開催しました。

その他 重点事項等

人材確保のため、非常勤職員・アルバイトを増員しました。EPAによる外国人労働者の受入を検討しましたが、外国人留学生の雇用が可能と知り、ベトナム・インドネシアの学生を4種職員として受入開始しました。高齢派遣労働者の活用も開始しました。

ケアマネジメントの推進を円滑にするため、勉強会を開催しました。

地域交流事業を活発に行い、コンサート・勉強会を開催しました。地域の市民団体や青少年育成団体との共催事業も実施しました。平成27年10月17日、30周年記念講演会「医療福祉介護分野の未来を切り拓くロボットテクノロジー」と記念パーティーを開きました。介護用ロボットの導入についても勉強会を実施しました。ホームページ刷新は継続課題としました。10月24日に9回目車いす甲山登山を実施しました。

(B) 身体障害者短期入所事業・児童短期入所事業 日中一時支援事業

登録人数 148人 実利用人員 48人 短期入所事業利用延べ日数 1,903日

日中一時支援事業 延25人 実人員1人

(C) ホームケアサービス(居宅介護・訪問介護サービス)

介護保険事業所「はんしん自立の家」ホームケアサービス(平成17年5月1日指定)
稼動 なし

障害者居宅介護「はんしん自立の家」ホームケアサービス(平成17年5月1日指定)
登録3人 週7日 331時間稼動

(D) トラファルガー・スクウェア(小規模作業所)

施設の概要

所在地	兵庫県宝塚市高司5丁目5-1
建物(借家)	66㎡
事業開始年月日	平成19年11月1日
定員(現員)	利用者 5人以上(5人)
管理者	石田英子

助成事業

宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」より配分を受け、「絵本をよむ会」で使用している絵本を購入しました。

IV 「しそ自立の家」

1. 事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援 生活介護
- (B) 短期入所事業
- (C) 就労継続支援B型事業
- (D) 共同生活援助事業
- (E) 小規模作業所

(A)障害者支援施設「しそ自立の家」

施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市波賀町小野 502 番地 5
敷地面積 5,598.14 m² 施設面積 2,705.93 m² (含グループホーム職員宿舎)
施設認可・事業開始年月日 平成 7 年 10 月 1 日
定員 (現員) 施設入所支援 50 名 (44 名)
生活介護 50 名 (登録 57 名) () 内は平成 28 年 3 月 31 日現在
管理者 坂口信裕

入居者、通所者の状況

施設入所支援 入所 1 名 退所 2 名 (1 名死亡)
生活介護 通所 13 名
施設入所支援 障害支援区分平均 4.9 平均利用者数 43.1 人 年間延べ 15,768 人
平均年齢 50.1 歳 平均在所期間 16.7 年
生活介護 障害支援区分平均 4.8 平均利用者数 35.1 人 年間延べ 12,830 人
平均年齢 48.2 歳

長期入院があり、1 名は医療的対応が必要となり 10 月に退所されました。12 月に 1 名死亡されました。10 月に 1 名が入所されました。

職員の状況

管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 37 (18) 名
看護師 2 (2) 名、栄養士 2 (0) 名、調理員 5 (3) 名、事務員 2 (1) 名
医師 1 (1) 名 () 内非常勤職員
正職員 29 名 非常勤 1 種職員 7 名 2 種職員 20 名 3 種職員 1 名
計 51 (25) 名 平成 28 年 3 月 31 日現在

生活支援員は 4 月に 1 名を採用、11 月に 2 種職員 1 名を 1 種職員に採用。8 月に育児休業

から1名復帰しました。栄養士1名を4月に正職員に採用。調理員1名が退職したため「はりま自立の家」より調理員1名の異動がありました。6月1種調理員に1名採用。栄養士1名が1月より育児休業に入りました。

施設財務の状況

入所者1名が死亡、1名が長期入院をされたのち退所となり、年度途中で2名の方が退所されました。退所者がでた後も新しい入居者の受入が出来ず、減収となり赤字になりました。

利用者数を増やす研究、定員の研究など、収入を確保するための対策が必要でした。

その他 重点事項等

平成27年10月31日 開設20周年記念行事として、お祝いの会と記念のオープンデーを開催しました。

理学療法士による訓練を開始しました。

職員を法人研修、外部研修に参加させました。

たん吸引等の実施のための研修を1名が受講。 介護福祉士に2名が合格。

(B)短期入所事業

短期入所 利用実人員 13人 利用延べ日数 771日

日中一時支援事業（宍粟市） 利用実人員 10人 利用延べ日数 145日

(C) 就労継続支援B型事業 「チェシャーパーカリー」

施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市山崎町木ノ谷 606 番地 1

敷地 長澤産業株式会社所有地

事業開始年月日 平成 24 年 4 月 1 日

定員（現員） 10 名（8 名）

管理者 坂口信裕

サービス管理責任者 1 名、職業指導員 1 名、生活支援員 2（1）名

（）非常勤職員

正職員 3 名 非常勤 2 種職員 1 名 計 4（1）名

平成 28 年 3 月 31 日現在

通所者 1 名が市外に転居されたことにもない退所されました。

業務用冷蔵庫 1 台が運転しなくなったため入れ替えを行いました。

(D) 共同生活援助事業 「グループホーム「楽」」

施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市波賀町小野 605 番地 1

敷地 912.23 m²

事業開始年月日 平成 24 年 4 月 1 日

定員（現員） 7 名（7 名）

管理者 坂口信裕

サービス管理責任者（兼務）1 名、世話人 5（4）名 （）非常勤職員

正職員 2 名 非常勤 1 種職員 1 名 2 種職員 3 名

計 6（4）名 平成 28 年 3 月 31 日現在

(E) 小規模作業所「チェシャージュップ」

施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市山崎町木ノ谷 606 番地 1

敷地 長澤産業株式会社所有地

事業開始年月日 平成 18 年 11 月 1 日

定員（現員） 利用者 5 名以上（5 名）

管理者 坂口信裕

生活支援員 3（2）名 （）非常勤職員

正職員 1 名（兼務） 非常勤 1 種職員 1 名 2 種職員 1 名

計 3（2）名 平成 28 年 3 月 31 日現在

2 種職員 1 名が 12 月末で退職しました。

助成事業

宍粟市社会福祉協議会「平成 27 年度共同募金配分金事業」より配分を受け、絵本を購入しました。小さなお子様が来店されたときに、自由に読んでいただけるように設置しました。

V さんだ子ども発達支援センター「かるがも園」

事業の内容

- (A) 児童発達支援センター「かるがも園」(三田市受託事業)
- (B) 児童発達支援事業「すくすく教室」(三田市受託事業)
- (C) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業「さんだ子ども発達支援サービス」(三田市受託事業)
- (D) 保育所等訪問支援事業「さんだ子ども訪問支援サービス」(三田市受託事業)
- (E) 「子ども発達支援センター」の運営(法外施設)

(A)児童発達支援センター「かるがも園」

施設の概要(平成28年3月31日現在)

所在地	兵庫県三田市井ノ草808番地		
敷地面積	4,448.92㎡	施設面積	950.22㎡
施設認可・事業開始年月日	平成10年4月1日		
定員(現員)	30名(30名)		
管理者	平井真由美		

通園児の状況

入園	11名	卒園・退園	11名	
平均利用児数	26.0人	年間延べ	5,758人	
	平均年齢	4.6歳	平均在籍期間	1.9年

職員の状況

管理者1名、児童発達支援管理責任者2名、児童指導員・指導員4(7)名、保育士4名(4名)、看護師(3)名、栄養士(1名)、事務員1(1名)、訪問支援員1名、相談支援専門員1名、相談支援員1名、用務員(1名)()内非常勤職員
正職員15名 1種職員2名 2種職員15名 計32名 平成28年3月31日現在
正職員4名、2種職員1名を採用し、年度内に9名が退職しました。

施設財務の状況

開設から18年が経ち、長年使用してきた保育備品・事務備品等の買替えを行い、新たな療育活動に役立てるための訓練備品を購入しました。相談支援事業・保育所等訪問支援事業が三田市受託事業となり指定管理料が増えましたが、これまでの指定管理料の繰越分が減額されたため、前期繰越金を取り崩しました。

その他 重点事項等

保育の質向上のために、シェルボーン・ムーブメント、オイルマッサージ、体育活動等、

さまざまな療育活動を実践しました。

職員のためのコミュニケーション研修・保育研修を行い、資質の向上を図りました。

給食業務の委託を開始しましたが、人材確保困難等の理由で契約終了の申し出があり、再度プロポーザル方式での入札を行いました。

三田市障害児療育センターの平成 28 年度～32 年度指定管理者申請を行い、指定されることが決まりました。空調設備の入替と照明の LED 化工事（全体の約 2 分の 1）が三田市によって行われました。

(B) 児童発達支援事業「すくすく教室」

登録人数 53 人 実利用人員 50 人 年間利用延べ人数 1,932 人 年間保育日数 218 日
親子通園により、小集団での保育と療育訓練を実施しました。

(C) 「さんだ子ども発達支援サービス」

相談支援事業 590件実施

障害児相談支援事業・特定相談支援事業

サービス等利用計画案策定・モニタリング 286 件実施

(D) 「さんだ子ども訪問支援サービス」

障害のある子どもが通う地域の集団を訪問し、子どもへの発達支援と職員への助言指導を行う事業を新たに開始しました。 訪問による支援件数 5 件。

職員を対象とした療育講座も開きました。 実施回数 4 回 延べ受講者数 97 名

(E) 「子ども発達支援センター」の運営

施設の概要

所在地 兵庫県三田市井ノ草字松ヶ崎 803 番地・808 番地、
兵庫県三田市長坂字北畑 160 番の 3

建物面積 429.4 m²

事業開始年月日 平成 13 年 4 月 1 日

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団と協力し、療育事業の実施、療育研修会・保護者研修会の開催、職員のための研修等を行ないました。建物調査により、雨漏り防止のための調査・修繕等が必要との指摘を受けました。